

別添3(第4の1関係)

令和元年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業の実施結果(北陸農政局)

都道府県名 項目	新潟県		富山県	
(1)会議等の名称	学校給食用牛乳供給推進会議 学校給食用牛乳事業実施計画策定 等に係る会議(併催)	実態調査等	学校給食用牛乳供給推進会議	食品衛生研修会
(2)日時	元年8月20日	2年1月10日	元年7月18日	元年7月18日
(3)場所	新潟県酪連会議室	農林水産省講堂	富山県民会館会議室	富山県民会館会議室
(4)参加機関と人数	県食品・流通課、県保健体育課、県 小中学校PTA連合会、県学校栄養 士協議会、県学校給食会、県飲用 牛乳協会、県牛乳事業協同組合、 北陸酪連、事務局 以上9名	県学乳推進協議会、県	県教育委員会、県農産食品課、県 学校給食会、県牛乳事業協同組 合、県牛乳普及協会 以上12名	県教育委員会、県農産食品課、県 厚生部生活衛生課、県学校給食 会、学校給食用牛乳供給乳業者 以上19名
(5)議題	・30年度事業の実績について ・元年度事業について	元年度学乳供給事業推進全国会議 出席	・元年度事業の計画について	乳業事故の防止と食品衛生法改正 について
(6)概要	・30年度事業実績の報告及び元年 度事業実施内容を説明。 ・牛乳の安全・安心への取組の計画 等に関する説明。	元年度事業実施状況、2年度事業の 変更点、学乳事業等に関する意見 要望等について説明を受け意見交 換を行い、学乳における容器サイクル 問題や風味変件事案への対応に係 る講演を傍聴した。	・元年度事業の計画を説明。 ・学乳の異味・異臭問題等につい て、Jミルク資料を用いて研修。	HACCPの制度化を含む食品衛生法 の改正及び食中毒予防(HACCPの 導入)等について学乳事業関係者を 対象に食品衛生研修会を開催。
(7)成果	風味変化問題への理解醸成、学乳 供給への取組について関係者間で の共有が図られた。	2年度学乳事業の概要や学乳をめぐ る情勢について情報収集できた。	事業内容の周知及び関係者間で情 報の共有が図られ、事業の円滑な実 施が行われた。 風味異常に関する理解醸成、衛生 管理に対する意識向上が図られた。	乳業事故の防止に対して基本的な 衛生管理の重要性を再認識すると ともに、HACCP制度化を含む食品衛 生法の改正について関係者間で情 報の共有が図られた。

都道府県名 項目	富山県		石川県	
(1)会議等の名称	実態調査等	学校給食用牛乳事業実施計画策定等に係る会議	学校給食用牛乳事業実施計画策定等に係る会議	学校給食用牛乳供給推進会議
(2)日時	2年1月10日	2年2月21日	31年4月9日	元年6月13日
(3)場所	農林水産省講堂	富山県農協会館会議室	石川県酪農協	石川県酪農協
(4)参加機関と人数	県牛乳普及協会、県	県教育委員会、県農産食品課、県学校給食会、県牛乳事業協同組合、県牛乳普及協会 以上11名	乳業者 9名	県生産流通課、県教育委員会、県学校給食会、県PTA連合会、生産者団体、乳業者 以上8名
(5)議題	2年度学乳事業内容の確認	・2年度事業の計画について	元年度事業計画について	・30年度事業の実績について ・元年度事業について
(6)概要	学乳をめぐる情勢や2年度事業内容について説明を受け、意見交換を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・元年度事業の進捗状況を説明。 ・2年度事業について説明。 ・HACCP制度化に係る学乳の対応について説明。 ・学乳パックのリサイクルについて意見交換。 ・条件不利地域への配送コストについて意見があり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元年度事業の内容を説明。 ・学校との受発注のシステム化について提案があり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・30年度事業実績の報告及び元年度事業実施内容を説明。 ・物流業者からの求めもあり、学乳単価アップや前日・隔日配送の検討について要請があり。 ・Jミルクによる「牛乳ヒーロー&ヒロインコンクール」の作品募集を各学校に働きかけ、牛乳への理解・認知度向上を図ることについて提案があり。 ・県学校給食会主催の衛生管理講習会への参加要請があり。
(7)成果	2年度の事業実施方針やHACCP制度化による学乳供給事業者の要件等について確認できた。	学乳事業の計画について確認できた。	各市町の教育委員会と協議を行い、受発注システム構築に向けて取り組むことができた。	関係者間で情報の共有が図られ、事業を円滑に実施できた。「牛乳ヒーロー&ヒロインコンクール」の働きかけにより、応募数が増加(昨年度35→111作品)

都道府県名 項目	石川県	福井県	
(1)会議等の名称	実態調査等	学校給食用牛乳供給推進会議	学校給食用牛乳事業実施計画策定等に係る会議
(2)日時	2年1月10日	元年12月23日	元年12月23日
(3)場所	農林水産省講堂	福井県庁会議室	福井県庁会議室
(4)参加機関と人数	県学校給食牛乳協議会、県	県PTA連合会、県学校給食会、県学校栄養教諭等研究会、県保健体育課、県中山間農業・畜産課、供給事業者、県経済連畜産課 以上17名	県PTA連合会、県学校給食会、県学校栄養教諭等研究会、県保健体育課、県中山間農業・畜産課、供給事業者、県経済連畜産課 以上17名
(5)議題	2年度学乳事業内容の確認及び今後の情勢	<ul style="list-style-type: none"> 元年度学校給食用牛乳供給推進事業の実施について 事業に対する要望等 	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容について 学校給食用牛乳供給計画等について 見積合わせの実施について 配送に関する意見交換
(6)概要	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容の確認及び学乳をめぐる情勢について説明。 補助単価の算出方法について要望があり。 	<ul style="list-style-type: none"> 安定需要確保対策事業の仕組み及び事業費(見込み)、事業者への要望について各機関より説明。 	<ul style="list-style-type: none"> R2年度安定需要確保対策事業、学乳供給量、供給容器・区域等の変更、見積合わせ、臨時休業措置等への対応、県産牛乳使用に関する要望、風味変化問題について説明があった。 学乳配送に関する意見交換を行った。
(7)成果	<ul style="list-style-type: none"> 全国の学乳情勢や各県が抱える問題点などの情報収集ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学乳事業の目的および実施状況を確認できた。 事業者には、衛生管理、検乳等に関する要望をあげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> R2年度の事業計画を確認できた。 見積合わせの円滑な実施に向けた協議ができた。 牛乳の消費拡大や賞味期限・風味変化問題について理解醸成を図ることができた。 学乳の配送問題について建設的な意見交換ができた。